

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
17	ヤマザキ動物看護大学	動物人間関係学概論	植田 富貴子 教授 他5名	2	後期	月	15	13:10～14:40	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

1. 人間と動物の関わり
 - 1) 動物の飼養・利用の歴史について理解する
 - 2) 欧米と日本の動物観、動物との関わり方の相違について理解する
 - 3) 動物の飼養と利用の現状について理解する
2. 人間の福祉と愛玩動物の関わり
 - 1) 動物虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識について理解する
 - 2) 多頭飼育崩壊（アニマル・ホーディング）について理解する
 - 3) 愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる 様々な事情について理解する
3. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育
 - 1) 動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響について理解する
 - 2) 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容について理解する
 - 3) 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適性、行動学的適性について理解する
 - 4) 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に対する動物病院や愛玩動物看護師の関わりについて理解する
 - 5) 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する（文部科学省が道德教育の一環として認めていることを含む）

【授業内容】

1. ガイダンス、動物人間関係学とはなにか
2. 人間と動物の関わり（動物の飼養・利用の歴史と現状）
3. 日本の文学・芸術における動物
4. 欧米と日本の動物観、動物との関わり方の相違について
5. 動物の飼育と利用の現状、人の生活に貢献する動物の役割
6. 使役動物（歴史、福祉、身体障害者補助犬：盲導犬・介助犬・聴導犬）
7. 人間の福祉（愛玩動物が人に与える恩恵：身体的・心理的影響）と人の加齢化による飼育の問題
8. ペットの飼育（飼育理由、歴史・現状、愛着・依存、ペットロス）
9. 学校飼育動物の目的と実態および愛玩動物看護師の関わり
10. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容
11. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に使用される動物の行動的適正
12. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育と公衆衛生
13. 動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育における動物病院、動物看護師の役割
14. 動物虐待と対人暴力の連動性および多頭飼育崩壊（アニマルホーディング）
15. ペット産業の現状

【授業の概要】

動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。

【成績評価方法】

授業参加度 50%、レポート 50%として総合的に評価する。

【教科書】

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻 動物看護学概論／人と動物の関係学／生命倫理・動物福祉 EDUWARD Press

【参考書、教材等】

教材としてプリント、スライド等を随時使用する。

※ この授業は、9/26（月）が初回です。

※ 授業回によっては、時間が14:50～16:20になる場合があります。